

令和三年 出雲市消防団長 訓示

新年明けましておめでとうございます。

令和三年を迎え、謹んで新年のお祝いを申しあげます。

この度、市長表彰及び団長表彰を受けられた団員の皆さまには、心よりお祝いを申しあげます。また、皆さまを支えている他の団員、ご家族、そして地域の皆さまにも心より感謝を申しあげます。

本来、表彰の場である令和三年出雲市消防出初式については、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されるため、やむを得ず中止といたしました。団員の皆さまに對して、私の思いを直接お伝えするることができないため、本書面にてお伝えさせていただきます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が全国で感染拡大する中、多方面において集客を伴う行事や活動が中止となり、消防分野におきましても全国消防操法大会、全国女性消防団員活性化大会、消防関係者大会

などが軒並み中止となりました。出雲市消防団においても影響を受け、島根県消防操法大会や各方面隊消防操法大会の中止、さらには通常の訓練や活動に規制をかけることとなり、十分な消防団活動ができない一年でありました。

この様な中、全国では様々な災害が発生しており、特に令和二年七月豪雨により、甚大な被害を受けられた熊本県南部の市町村では、現地の消防団が救助、警戒、避難誘導など多岐にわたり活躍され、重要な役割を果たされたと聞いています。大規模な災害に際し、地域の安全・安心を守るためには、地域における防災力の充実強化が極めて重要であります。そのために、地域住民の最も身近な存在である、我々「消防団」が中心となっていかなければならないことを、新年の年頭にあたり、改めて決意したところでございます。

団員の皆さまにおかれましては、収束の見えないコロナ禍での消防団活動にモチベーションの維持や、家族・職場からのご理解など、ご苦勞、ご苦心が多々あると思いますが、引き続き感染防止対策を徹底し、消

防団活動の質を落とすことなく対応していただくよう、切にお願いいたします。

いよいよ本年四月一日から斐川方面隊が新しい体制となり、これにより十五方面隊、四十八分団、百三十部の組織体制となった出雲市消防団がスタートします。

また、昨年中止となった、第二十七回全国消防操法大会が、第二十八回大会として同じ千葉県で開催される予定であり、出場されます神門分団の皆さまには、体調管理に十分留意され、好成績を収められるよう期待いたします。

最後になりますが、本年が出雲市消防団にとって飛躍の一年となるよう願うとともに、団員の皆さまをはじめ、ご家族、そして消防関係者すべての皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年にあたっての訓示といたします。

令和三年一月十一日

出雲市消防団長

河原

